

北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会. Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2019年1月12日

さあ変えよう、私たちの声と行動で

親善を入港目的に2月の小樽港に次々と3隻の米艦船の入港通知が

これまでも81隻の外国艦船(1961年以降)が民間港・商業港の小樽港に入港しています。小樽港の軍事化「恒久的受け入れ基地化」の様相を示すもので断じて許せません。非核宣言都市の平和で安全な商業港である小樽港には、アメリカの軍艦は必要ありません。

米艦船寄港反対小樽連絡会では早速会議を開き、小樽港湾管理者(小樽市長)に入港受け入れ拒否するよう要請すること、市民への宣伝や入港反対集会などの行動を決めました。小樽市では、①港湾の安全性、②港湾業務への影響、③核兵器搭載の有無の3点を判断基準としています。

〈 1月4日付通知 〉

ミサイル巡洋艦アンティータム
2/1(金)10時~2/5(火)
揚陸指揮艦ブルーリッジ
2/8(金)10時~2/12(火)

〈 1月9日付通知 〉

掃海艦チーフ 2/1(金)10時~2/5(火)
★希望岸壁は小樽海上保安本部が係留施設として通年使用しているため岸壁手配できない旨、回答したそうですが・・

マイナス10度の小樽港での入港反対抗議行動 2018年2月



オーストラリアやニュージーランドの人も署名

国際色豊かな小樽の新春6・9行動

9日(水)小樽の6・9行動は生活と健康を守る会の人たちがグッズを運んで夕方5時半からスタート。英語のオリジナルのプラスター(右写真)や英語で署名を呼びかけるスピーチなど、韓国や中国、オーストラリアはじめ観光客にもアピールしました。



6・9行動終了後の小樽原水協幹事会では、禁止条約実現めざし3月末までに「ヒバクシャ国際署名」1万筆達成めざして取り組みを推進することを確認しました(到達は7088筆)。また3・1ピキニデー北海道集会の参加を位置づけ、4人から参加希望が出されました。米艦入港は小樽連絡会で取り組むことが報告されました。

